

# 山形 いぶき

vol.160

令和5年1月

YNA 夢・ナーシング・愛



## 公立高畠病院

公立高畠病院は、地域包括ケア病棟、医療療養病棟を有し、回復期、慢性期を中心に包括的な医療を行っている地域完結型の病院です。「地域の方々に質の良い医療を提供し、信頼される病院を目指します」を病院理念に、チーム医療を推進し、患者様が住み慣れた地域で、自分らしく生活していくことを見据え、多職種が協働して丁寧な退院支援、在宅支援に取り組んでおります。

看護部長 高橋 由美



### TOPICS

- ◆ 令和5年 新年のご挨拶
- ◆ 「2022輝く県民活躍大賞」受賞
- ◆ 庄内・置賜支部の活動状況
- ◆ 職能だより
- ◆ 【新春企画】看護職として働く親子・姉妹・夫婦をご紹介
- ◆ 「看護の業務改善in山形」事例発表会&表彰式
- ◆ 委員会の活動報告
- ◆ ナースセンターだより

### 2023(令和5)年度日本看護協会 通常総会・全国職能別交流集会

- 期日：2023年6月7日(水)・8日(木)
- 場所：千葉県 幕張メッセ

### 2023(令和5)年度山形県看護協会 通常総会

- 期日：2023年6月16日(金)
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター

### 令和4年度 会員数(1月現在)

保健師	352
助産師	367
看護師	7,118
准看護師	131
計	7,968



公益社団法人 山形県看護協会

ホームページ  
www.nurse-yamagata.or.jp

山形県看護協会



山形県看護協会  
LINE公式  
アカウント



## 令和5年 新年のご挨拶

～変化の波に挑み成長する～

公益社団法人山形県看護協会 会長 若月 裕子



皆様には健やかに新年をお迎えのことと思います。

旧年中は、本会事業に多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

コロナ禍4年目となり、感染力が非常に強いオミクロン株による第8波では、今まで以上に保健・医療・介護の現場が厳しい状況となっています。それでも県民の健康回復に向け、それぞれの立場で最善を尽くされている看護職の皆さまに心より敬意を表します。

少子高齢化の課題を見据え、行政機関のデジタル庁が2021年9月1日に発足しています。社会全体でのDX(デジタルトランスフォーメーション)を急激に加速する方向性で、医療DXにおいても、病院や診療所、薬局、訪問看護ステーション等の医療機関での、最新のテクノロジーの活用が始まっています。情報の共有により、アレルギーや薬の飲み合わせリスクの回避ができたり、患者さんやご家族、そして医療従事者にとって新たな価値、環境改善、医療サービス向上が期待されています。身近なことでは、厚生労働省は2021年10月20日からマイナンバーカードに保険証機能を持たせる保険証利用を稼働し、さらに政府は2023年4月より従来の健康保険証での受診料と差別化を図る方向を示しています。

皆さま、マイナンバーカードの作成はお済みでしょうか。保健師・助産師・看護師・准看護師の免許番号登録や就業状況届け出などの活用も進みますので、ご準備いただきますようお願いいたします。看護職には変化に強い対応力が培われておりますので、新たな時代の波にアンテナを高くし、情報をキャッチしながらDXを取り入れてまいりましょう。

地球環境の変化や気候変動など、私たちにさらなる試練を与えるかもしれません。医療と生活の両面の視点を持つ看護職の力・専門性を遺憾なく発揮し、いかなる状況でも乗り越えられることを願っています。

2023年の干支は、癸卯(みずのと)です。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。

本会事業におきましても、皆さまと共に前進し成長できるよう挑んでまいりたいと思います。

皆さまにとって充実した一年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。

どうぞ本年もよろしくお願いたします。



### 「2022輝く県民活躍大賞(一般社会貢献部門)」受賞!!

#### 「出前授業」講師派遣事業「いのちの教育・性の健康教育」

専門職による草の根の啓発活動としてのお手本事例として、また未来を担う人づくりに大きく貢献する取り組みであることが評価されての受賞となり、令和5年1月20日山形県庁にて授賞式が行われました。「いのちの教育・性の健康教育」にご協力いただいている「性の健康支援ネットワーク」会員の皆さま、そして派遣にご協力いただいている所属施設の皆さま、ありがとうございます。



## 支部の活動状況

### 庄内支部

庄内支部長 中村 美穂

令和2年度からの支部活動は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修会や「まちの保健室」の活動は縮小もしくは中止せざるを得ない状況でした。しかし、今年度は感染防止対策を講じながら、9月17日に第1回庄内支部研修会をZoom開催し、150名の方々よりご参加いただきました。第1部では、若月会長より「地域密着の看護をどう考える」と題しご講話をいただき、第2部では、日本海総合病院緩和ケア認定看護師 小野早代氏より「日々の取り組みの中のACP～意思決定支援やチーム医療の事例を通して考える～」と題しご講演いただきました。

そして、令和5年2月13日に新人看護師交流会を開催予定です。昨年度は、開催直前にコロナ感染拡大の影響で中止となったため、今年度は確実な開催を目標とし、Zoom開催としました。研修では、先輩看護師からの講話の他、グループワークも予定しており、ファシリテーターを配置するなどスムーズな運営を行えるよう準備しています。

また、今年度は2年間行えていなかった「まちの保健室」の活動を再開することができました。鶴岡市主催の健康づくり協調月間オープニングイベントに参加し、血圧測定・体組成測定を行いながら健康相談を行いました。20歳から80歳代まで幅広い年齢層の方々が来場し、活気あるオープニングイベントでした。併せて、同会場で10月1日から31日まで「乳癌について」のポスター展示を行いました。

今後も、研修会や「まちの保健室」の活動は、状況に合わせて多様に対応し、会員の皆様や地域の皆様に貢献できる活動を行ってまいります。

### 置賜支部

置賜支部長 伊藤加代子

新型コロナ第7波による医療ひっ迫の中でありましたが、皆様のご協力のもと9月14日にZoom研修会を無事開催することができました。

第1部：若月会長より「地域密着の看護をどう考える」をテーマに、地域ニーズに沿った医療を提供していくための現状と課題についてご講話をいただきました。どんなことを意識して地域看護に取り組んでいくべきか考える機会を与えていただきました。

第2部：国立病院機構米沢病院医師 沼田健裕先生より「東洋医学・漢方薬について」の講演、「太極拳でリフレッシュ」の体験研修をいただきました。未知のジャンルについての興味とリフレッシュ、新しい知識の習得の機会となりました。

「まちの保健室」事業では、イベントは中止となってしまいましたが、7月～9月に許可をいただいた地域公共施設での「熱中症予防」ポスター掲示活動を実施しました。

他に、常設型事業計画が通り、10月22日に長井市温泉施設「はぎ乃湯」にて第1回目を実施しました。今後は、ボランティアを活用し定期開催の方向で企画を検討しています。

また、米沢市在住で臨床仏教師と臨床宗教師として活動されているご住職お二人を、山形県看護協会よりご紹介いただきました。大阪府看護協会「看仏連携」に取り組んでいる情報等もお聞きし、このご縁を活かして「看仏連携」事業に取り組み始めています。

新型コロナが1日も早く終息されることを願いつつ、これからも会員の皆様や地域の皆様に貢献できるよう、活動をしていきたいと思っております。

### 令和4年度山形県助産師活用推進事業紹介

山形県看護協会では、山形県より委託を受け、山形県内における助産師の確保及び助産師実践能力の向上と病院の連携を目的とした、助産師出向への支援を行っています。

この度、鶴岡市立庄内病院から鶴岡協立病院へ2名の助産師が派遣されました。それに先立ち、11月28日に鶴岡市立庄内病院にて協定式が行われました。



## 保健師 職能だより

## 保健師の仲間とともに

保健師職能委員長 後藤 順子

新型コロナウイルス感染症が収まってきたと安心していると、第8波の流行も耳にするこの頃です。コロナウイルス感染症の流行は、保健所では感染者の対応に追われ、市町村ではコロナワクチンの対応に振り回された日々を過ごし、保健師の本来の活動ができなくなったとの声を聴くことが多くなりました。このような中で、令和4年度の保健師職能委員会の活動では、助産師職能委員会と合同で母子のための地域包括ケアシステムに関する研修会を行いました。産後ケアに関する医療機関や市町村の取り組みと課題を知り、お互いの活動の理解を深めました。この合同研修会は、同じ看護職でありながらお互いのことを知るとても良い機会です。今後も継続していく予定です。

さらに10月には、青森ダンディの竹林正樹先生から、保健指導に活かすナッジ理論の話聞き、改めて住民目線の保健師活動や行動変容を促すリーフレットの作成の仕方などを学ぶことができました。住民に対し正面から問いかけるのではなく、後ろからそっと後押しするために私たち保健師として何が出来るか考えさせられました。また、この研修会には地域包括支援センターや産業保健分野の保健師の参加もあり、保健師としての仲間づくりの機会にもなりました。保健師の活動とは何か、そのためにどのようなスキルが必要か、どう仲間と連携を取り合ったらよいか、今後も考えることがいっぱいあります。皆さんぜひ一緒に活動しましょう。

## 助産師 職能だより

## 助産師職能研修会において

助産師職能委員長 吉田 宏井

10月13日、山形県立保健医療大学 菊地圭子准教授を講師にお迎えし「若手助産師研修～あつまれ！promising young midwife(期待の若手)～」をテーマに、新人から卒後4年目までの助産師を対象に研修会を開催しました。コロナ禍において従来のような助産実習ができなかった学生が就職している中、新人を大切に育てていくとともに助産師としての在り方を見つける一助になることをねらいとしました。

感染対策を取りながら講義やグループワークは対面形式にし、活発な意見交換が行われ効果的な研修会になりました。参加者各々が若手助産師としての強みを考え、目指す助産師像や助産師観、コミュニケーション技術について学びを深めました。参加者からは「若手の強みを知り自己肯定感が高くなった、自信が持てた、自分の役割を知った」などの声が聞かれ、若手助産師として自信を持ち実践することや自身のキャリアについて考えるきっかけとなりました。

今後も助産実践能力の向上と助産力を高められるよう、委員会活動の中で情報発信し取り組んでいきたいと思っております。



## 看護師 職能Iだより

## 地域包括ケアシステムのさらなる推進に向けて

看護師職能I委員長 丸山 邦

医療や介護に大きなニーズが見込まれる2025年が、目前に迫っています。地域包括ケアのさらなる推進に向けて、私たち病院領域の看護師には、大きな期待がかかっています。10月に北海道・東北地区看護師職能委員長会Iが山形を会場に開催されました。

1つのテーマでは「地域包括ケア推進に向けて各病床機能で求められる看護職の役割発揮に関する課題発見・意見集約」として「各病床機能で求められる看護職の役割」が論点でした。

各病床機能で切れ目ない看護が提供されるためには、機能に応じた医療や看護を意識し、患者支援することが必要です。地域のニーズに応えるための各病床機能における看護の役割や課題について、以下のような議論となりました。

- ・高度急性期、急性期：救急医療、がん治療等急性期医療では状態の安定化を図る支援  
課題：複数疾患が絡み合い症状の悪化を繰り返す高齢者
- ・回復期、慢性期：身体・生活機能の維持や機能回復への支援  
課題：在院日数短縮化により、医療依存度が高く医療処置が必要な患者の増加
- ・全機能共通：対象を地域の生活者として捉え地域に繋ぎその人らしさを支える支援
- ・役割発揮のために：人材確保、人材育成、看看連携、看護管理者のマネジメントが必要

各機能の役割を發揮・連携し、地域でその人らしく暮らせるように支援していきましょう。

## 看護師 職能IIだより

## ノーリフティング研修会を実施

看護師職能II委員長 須藤美和子

9月24日山形大学地域看護学講座在宅看護学 松田友美教授を講師にお迎えし、「安楽と心地よさにはたらきかける！未来を拓くポジションニングと移動支援」をテーマに研修会を開催しました。参加者は39名と昨年を上回り関心の高さが伺えました。参加者の経験年数は10年以上76%、20年以上34%で80%の方が自ら希望し受講されています。集合研修とし、実際に椅子への移動支援や圧抜きグローブを使用しての圧抜き等を体感してもらいました。

研修を通じて、日々実践しているケアをもう一度学び直し、新しい考え方ノーリフティングケアの理解を深めることができました。

今後も委員会を通じて高齢者や地域で働く看護職とつながりを広げ、現場の声を聞き、高められるよう取り組んでいきたいと考えています。





新春  
企画

# 看護職として働く 親子、姉妹、夫婦

をご紹介します



Q1. お互いに看護職で良かったこと Q2. 今年、一緒にしたいこと Q3. お互いに一言



**姉** 山形済生病院 看護師 後藤 舞美

- Q1. 仕事に関するやりがいや嬉しかったこと、悩みや不満などを共有し理解してくれる人が身近にいること。
- Q2. 温泉旅行。就職祝いで姉妹旅に行ったきり一緒に旅行いけないので、そろそろ行きたい。
- Q3. いつもくだらない話を聞いて共感してくれてありがとう！これからもよろしくね。

**妹** 山形済生病院 看護師 石山 美紅

- Q1. 気心の知れた姉が近くにいることで、時には悩みなども相談出来るため、とても心強いこと。
- Q2. 温泉旅行に行き、ゆっくりしながら語り合いたい。また、姉弟3人でおいしい焼肉を食べに行きたい。
- Q3. いつも良さ理解者でいてくれてありがとう！これからも仲良くしていこうね。

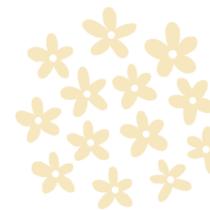


**夫** 北村山公立病院 看護師 本間 淳一

- Q1. 命に関わる仕事、不規則な勤務時間、職場で受けるストレスなど理解し合える。また、やりがいや喜びについても共有し合える。
- Q2. 2人で過ごす時間を増やしたい。
- Q3. お互いに看護を切磋琢磨し、生活では協力していこう！

**妻** 北村山公立病院 看護師 本間 聖子

- Q1. 仕事について全て話さなくても理解できる。同じ職場のため、子供が小さい時は勤務調整をしていただき働き続けることができた。
- Q2. ゆっくり旅行に行ったり、音楽鑑賞や舞台など観に行きたい。喧嘩をしない1年にする。
- Q3. これからも協力していきましょう。



**親** 鶴岡市立荘内病院 看護師 亀井 由佳

- Q1. 同じ看護師として仕事の大変さや不規則な生活リズムは理解し、サポートしてあげられる。
- Q2. コロナ禍で、なかなか一緒に出掛けられないけれど、今年は沖縄か北海道へ女子旅をして一緒にリフレッシュしたいです。
- Q3. 相手を思いやること、感謝すること、そして何より自分自身を大切にすることを忘れずに。母はいつでもあなたの一番の味方です。

**子** 鶴岡市立荘内病院 看護師 亀井 優奈

- Q1. 職場の環境や雰囲気などの話を聞いており、大まかなイメージをもって入職することができた。親子であり、相談しやすく家での会話がストレス軽減になる。
- Q2. 学生の頃は一緒に出かけることが多かったが、最近は勤務の関係やコロナ禍で親子での時間が減ったため、ライブや温泉旅行など一緒に行きたい。
- Q3. 病院内ですれ違うことも多く、そのたびに声をかけてくれたり、職場でのことを話できたり同じ施設内で働けていることが心強いです。



**夫** 公立置賜総合病院 看護師 高橋 樹生

- Q1. 同職なので悩み(愚痴など)の共有や共感が出る。互いに切磋琢磨出来る。職業上、変則的な勤務だが、互いに協力しながら生活しやすい。
- Q2. コロナ禍であまり遠出が出来なかったため、妻と子どもと3人で旅行に行きたい。(春夏秋冬で)妻にゴルフを覚えていただき、一緒にコースをラウンドしてみたい。
- Q3. これからも多々ご迷惑をおかけするとは思いますが、何卒お手柔らかにお願いします(笑)家事に育児に常々感謝しております。ありがとう。

**妻** 公立置賜総合病院 看護師 高橋 葉月

- Q1. 師長さん同士のおかげでもありますが、夜勤をしやすい!! どちらかが子どもをみなければいけないので夜勤の希望を工面して下さることで働きやすくなっています。
- Q2. 旅行に行きたい!! コロナ流行のせいで、息子が行きたいところに連れて行けないことが多々あったので、夫と息子と3人で好きなのところに行きたいです。
- Q3. わがままばかりで気分ムラがある私ですが、いつも何だかんだ言うこときいてくれてありがとう(笑)おじいちゃんおばあちゃんになってもあーだこーだいいながらも何だかんだ仲よしの夫婦でいようね(笑)



## 事例発表会&表彰式を開催しました

山形県看護協会初の試みとなります「看護の業務改善in山形」を、12月3日(土)Webで開催し、各病院で行っている業務改善の取り組み事例の発表と表彰式を行いました。受賞されました各病院へ、審査員よりメッセージと賞状・記念品が贈られました。

### goodコミュニケーション賞

#### 【業務改善部門】

「地域包括ケア病棟における受け持ち看護師の役割意識の変化  
—転入後1週間以内の電話面談を導入して—」 米沢市立病院 藤倉 恭子氏

#### 審査員コメント 渡邊ひろみ(勤務環境改善推進委員長)

コロナウイルス感染症防止対策のために、面会ができない状態が続いている中で、看護師もご家族とコミュニケーションをとることが困難となり、信頼関係を構築することも大変な状況にあります。その対策として入院早期に電話を通じた面談方法の構築に取り組み、長い期間評価をしながら業務定着されたことは素晴らしいことと思います。  
この取り組みが結果的にご家族の安心につながったことは大きな成果といえます。Goodなコミュニケーションといえると思います。



### 多職種で連携賞

#### 【タスクシフト・多職種連携部門】

「臨床工学士との協働による内視鏡看護の充実」 米沢市立病院 船山ヒロ子氏

#### 審査員コメント 松田真理子(山形県健康福祉部医療政策課 地域医療連携室)

今回の事例は、医師・看護師・臨床工学士の専門性を活かしてあえる取り組みです。成果として、検査や治療をスムーズに行うことができ、患者さんの利益へ繋がっています。これまで看護師が行っていた機器の設定やセッティング、メンテナンス等を臨床工学士に分担し、さらにスタッフ間の役割を共有することでお互いのコミュニケーションが取り、本来の看護師の役割ができるようになった好事例だと思えます。

現代の医療はどの職種も専門性が高くなっており、質の高い対応が求められています。看護師は患者さんとかかわることが最も多い職種で、人数も職員の大半を占めるため、何かと頼りにされることが多いのが現状です。

業務分担やマニュアル作成には大変な労力が必要ですが、完成後は大きな強みになるはず。今後も様々な職種が連携して協力しあい、それぞれの専門性を活かしてあえる職場環境になることを願っています。

### スクラムがっちり看護業務のタスク・シフト賞

#### 【タスクシフト・多職種連携部門】

「夜間看護補助者導入による看護師業務の軽減に向けた取り組み」 寒河江市立病院 尾形 和美氏

#### 審査員コメント 若月 裕子(山形県看護協会会長)

80歳以上の高齢患者が75%を占める病棟において、緊急入院、手術患者の帰室で煩雑する17時以降の夜間帯の看護業務において、安全な業務推進に向けた取り組みは、理念である地域住民に信頼される病院づくりに貢献できると高く評価しました。

「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」に基づき、看護師長、看護補助者サポートメンバー、チーム会、看護スタッフ、看護補助者がそれぞれの役割を認識し、一丸となって行動されたことが、タイムリーな看護業務の提供や看護師の時間外減少、そして安全・安心な看護ケアの提供、健全経営の実現をもたらしたと感じました。

看護師より助かる、負担軽減を実感した、看護業務に専念できるという満足度の高い評価を得て看護師と看護補助者の連携強化がうかがえる報告でした。

さらに、タイムテーブルに沿って次の課題が見えており、今後の業務改善にますます期待できる内容でした。



## 看護の業務改善 in 山形



勤務環境改善推進委員会 委員長 渡邊ひろみ

### 病院一丸!朝の会が信頼関係をもたらしたで賞

#### 【タスクシフト・多職種連携部門】

「事務部門へのタスク・シフト/シェア  
—多職種連携のベースとなる「朝の会」の取り組み—」 順仁堂遊佐病院 信夫 松子氏



#### 審査員コメント 平山 達也(山形県社会保険労務士会)

2020年からの3年弱で本当に内容の濃い取り組みをされたんだと感じました。  
そして、今回、このような改革が前進したのも経営会議で病院長より組織改革方針が提示されたことで、トップからの強いメッセージが全体に浸透し、さらにそれを受けて、職員の方々が前向きに改革に取り組んでいったことが大きな原動力になったと思います。

組織改革のような、組織全体に関連する方針の提示はトップダウン、その方針を具体的に実行するためのアイデアを出す場合はボトムアップで行なうことで、意思決定の迅速さと、現場から多様なアイデアが生まれ組織が活性化するという双方のメリットを生かし、逆に双方のデメリットを補完するようなやり方をされているのは、流石だなと感じました。

また、取り組みの背景と目的にぶれがなかったことも、今回の成果・効果に結びついた要因の一つではないかなとも感じました。私が特に素晴らしいと思ったのが、部門の責任者が、毎朝一堂に会し朝の会を実施し、そこに参加される職員の間関係を深めてから、取り組みにかかったことです。

最初はあいさつ程度の会話が、回数が増えれば増えるほど、今度は会話の中身も自然と濃いものになっていくことで、質も高まっていったのだと思います。

これからも様々な取り組みを継続していこうという構想もお持ちのようですので、病院一丸となって、こうした小さな成功体験を、これからもどんどん積み重ねてほしいと思います。

### 小さなパワーから、やがて大きな成果へ向かうで賞

#### 【その他部門】

「施設間の連携におけるマンパワーの確保」 最上町立最上病院 岡野恵美子氏

#### 審査員コメント 菅井恵美子(日本医業経営コンサルタント協会山形支部)

チームという小さな組織が病院を動かしています。現場における臨機応変の対応が必要で、個人プレーではなくチームプレーが必要です。

既に、最上町立最上病院さんは同じ場所へ健康センター、各介護施設を併設されていてとても効率的で協力的な環境が整備されており、将来の人口減少、高齢化の中において不安が和らいでいると感じています。

今回の取り組みは初年度1名からの開始でしたが、この成果を最大限にアピールしてぜひ今後へ繋いでいただきたいと思えます。

日本医業経営コンサルタント協会の全国大会(研修)での講演で「スタッフのモチベーション向上させる仕組み」という内容を東京ディズニーランド創業時の運営者から、ゲスト(お客様)をハッピーにさせるにはキャスト(スタッフ)もハッピーにならなければ伝わらないとありました。病院においてもスタッフが動きやすいと感じることも重要と思えます。そして生き生きと働いている姿も元気になれるパワーを出せると思えます。

今回の取り組みにおいては、参加した看護師さんのスキルアップ、満足度、他のスタッフへの様々な好効果もいくつか挙げられていて期待値も大きいと感じました。

今後も継続的に医療の質向上のために頑張ってください。



受賞しました各病院の取り組み事例は、山形県看護協会ホームページをご覧ください。

## 「いのちの教育」研修会を終えて

いのちの教育推進委員会 委員長 結城けい子

令和4年10月4日にハイブリッド形式によるいのちの教育推進委員会主催の研修会を行いました。

午前中は聖路加国際病院顧問の細谷亮太先生より「生きること」から考える「いのちの教育」と題して講演していただきました。先生がこれまでどのように小児がんと向き合ってきたか、その中から感じたこと、学んだことを教えていただきました。特に、いのちは長さではなく、どう生きたかという中身の深さが大事であること、同情ではなく共感する事の大切さ、健康の意味などお話しいただき、心に染み入る講演となりました。

午後からは、模擬授業と題して山形厚生看護学校 佐藤陽子先生、山形市立病院済生館 庄司憲子先生より、小学生、中学生向けの授業をしていただきました。初めて授業を目の当たりにした方も多かったようで、大変興味深く受講されていました。

また、研修会後のアンケートでは例年になく、性の健康支援ネットワークに興味を持ったという回答が得られました。この結果をもとにネットワーク会員の増員とスキルアップに努めていきたいと思えます。

ネットワーク会員は、まだまだ募集中です。興味のある方は、ぜひ山形県看護協会にお問い合わせください。

## 変化する社会で支え・つなげる看護の力

～令和4年度山形県看護研究学会を開催して～

学会委員会 委員長 菊地 圭子

11月17日に山形県看護研究学会を開催しました。はじめに「終末期・緩和ケア・医療安全」「退院支援・看護技術・実習指導」「感染予防策」の3群で、計20題の演題発表がありました。平時と変わらず研究活動に取り組むことが対象者やご家族を守り、コロナ禍でも看護の質の維持・向上に繋がることを実感しました。

シンポジウムではまず2か所の病院からCOVID-19の対応経験や課題についてご発表頂きました。院内クラスターへの対応は困難な経験でありながらも、「組織の団結力を高める価値ある経験だった」と振り返られており、今まさにCOVID-19と戦っている看護の仲間にも勇気を与えるものだったと思えます。また、訪問看護ステーションでの陽性対象者への対応事例のご発表からも、限られた時間のなかで優先度を考え「引き算の看護」を行うことの柔軟さを教えて頂きました。このような経験値を共有し、山形県の看護職が一丸となって繋がりあうことで、COVID-19に必ずや打ち勝っていけるものと確信しました。

今年度は昨年同様web開催とし、学会終了後にオンデマンド配信を行い参加者のニーズに沿った開催方法にアップデート致しました。次年度も不透明ではありますが、研究成果を共有し、現場での看護に役立つ情報提供ができるような企画を準備して、皆様をお迎えしたいと思っています。次年度も多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



# 山形県 ナースセンター だより

## 看護の魅力発見！ 看護への道セミナー 終了しました！

11/6(日)、11/20(日)、「看護への道セミナー」を開催しました。両日ともに天候に恵まれ、中学3年生から高校3年生・保護者総勢78名が参加しました。昨年度まではオンライン開催でしたが、今年度は講師と直接お会いでき、より看護職を身近に感じる機会となりました。鶴岡市立荘内病院と山形県立中央病院より講師をお迎えして、看護学校入学までに必要なこと、看護師の1日の流れ、印象に残っている患者さんのことなどたくさんお話していただきました。また、山形県の担当者より、県内の看護師不足に関すること、修学資金について等についてお話がありました。また、事前に受け付けた質問に加え、鶴岡市の会場では、講師に直接質問する機会もありました。一人でも多くの方が医療や看護に興味を持ち、看護の道を目指してもらえれば幸いです。

11/6(日) 鶴岡会場



11/20(日) 山形会場

### ～参加者アンケートより～

- ★実際に働いている看護師さんの言葉だからこそ勉強や仕事の大変さが身に染みて分かった。私も多くの患者さんと関わり笑顔にしたいと思った。
- ★貴重なお話の機会をいただけて、進路決定の参考になった。
- ★「患者さんの笑顔が仕事を続ける理由になっている」とお聞きし、看護師はとてもやりがいのある仕事だと実感した。看護師を目指すことの誇りをより一層持つことが出来た。
- ★山形では看護師が不足していることを知った。子供の将来の進む道になれば良いと思う。
- ★臨床で活躍されている男性看護師さんの生き活きとした姿、体験談を聞くことができ、修学資金制度について知る事ができて良かった。



## 未来のナースたち！いつの日か一緒に働ける日を楽しみにしています！

### 届出制度「とどけるん」 ライフスタイルに合った働き方を一緒に考え、支援します！

届出制度とは、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターに届け出いただく制度です。ナースセンターが離職中の看護職とつながりを持ち、それぞれの状況に応じて、復職に向けた研修、無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供等の支援を行ないます。

退職および退職予定の方、ナースセンターとつながりを持ち情報収集してみませんか？

- <届出方法>
- ① パソコンやスマートフォンからの登録
  - ② ナースセンターによる代理登録  
(届出登録用紙は、山形県看護協会のホームページからダウンロードいただくか、山形県ナースセンターまでご連絡ください)
  - ③ 施設による代行届出登録

←←登録方法をご説明します。



スマートフォンでの登録はこちらから

### 看護の仕事

## 求人説明会



地域で就業を目指す人必見  
今回は、置賜地域で開催！  
現在、参加者募集中です

山形県ナースセンターでは、情報提供の機会として、「看護の仕事求人説明会」を開催しています。看護職が活躍している各施設の看護業務や求人募集の詳細について説明や、どのような働き方ができるか等について、直接聞くことができるチャンスです。未就業の方も就業中の方も、今後の就職活動や将来を見据えたキャリアアップを目指し、新たな一歩を踏み出してみませんか？

事前申込制、参加料は無料です！(※雇用保険受給者の求職活動に該当します。)

令和5年2月9日(木) 13:00～15:00 (受付:12:30～12:50)  
会場:米沢市すこやかセンター(米沢市西大通り1丁目5-60)

- ◆◆参加施設◆◆
- 社会福祉法人緑成会 成島園
  - 医療法人緑愛会 介護老人福祉施設かがやきの丘
  - アースサポート株式会社 アースサポート米沢
  - 訪問看護ステーションナーシングなごみ いちごのこころ

前回の求人説明会の様子



### 求人施設の皆さまへ 山形県ナースセンター 施設訪問報告

## 「私たちの職場自慢！」へ掲載してみませんか

山形県ナースセンターでは、「私たちの職場自慢！」と題して、ナースセンターのスタッフが皆さまの自慢の職場を訪問し、職場の雰囲気や看護職の活躍する姿、求人票のポイント等をお聞きし、山形県ナースセンター LINE 公式アカウントでご紹介します。施設の外観や看護職の働いている姿等を紹介することで、お友だち登録している看護職が、求人施設をより身近に感じ、「求人施設の雰囲気がわかりやすい」「施設見学に行ってみようと思った」等のお声をいただいています。看護職の求人募集中の施設の方々、ぜひ「私たちの職場自慢！」をご利用ください。また、お仕事をお探し中の看護職の皆さまも就職活動の情報収集にお役立てください。

ナースセンタースタッフが事前に訪問日時を調整し、訪問します。写真撮影や採用担当者に聞き取りをおこない、LINE 公式アカウントへの投稿の準備・投稿をします。



↑こちらの画面をクリックすると...



←LINE お友だち登録はこちら

写真や施設の概要、求人票のアピールポイント等をご紹介します。とても分かりやすく、アピールできるチャンスです！  
掲載を希望される求人施設は、山形県ナースセンター(023-646-8878)までご連絡ください。

# わたしの自慢

猫のミミです!



日向ぼっこ気持ちいい〜!の表情です(^^)

ニャーニャ 2歳

種類:サイベリアン(クリームタビー)

♂ 男の子



自慢の愛猫で、お休みの日はいつもずっと一緒にいます。遊ぶのが大好きなやんちゃな男の子です。

会員の皆さんの自慢のペットや趣味、風景、お弁当などを紹介してください。是非コメントを添えて下記へメールでお送りください。  
【送信先】Email:somu@nurse-yamagata.or.jp



## 理事会等の開催報告

### 令和4年10月21日(金) 第6回理事会 (Web)

審議事項 1. 令和5年度山形県看護協会 通常総会の日程について ……〈承認〉

### 令和4年11月22日(火) 第1回常務理事会 (Web)

協議事項 1. 令和5年度山形県看護協会重点事業(案)について 2. 委員会統合のあり方について 3. 謝金等について

### 令和4年12月16日(金) 第7回理事会 (Web)

審議事項 1. 令和4年度山形県看護協会上半期事業報告 ……〈承認〉 6. 令和5年度山形県看護協会 職能・常任・特別認定委員会委員の選出について…〈承認〉  
2. 令和4年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告……〈承認〉 7. 委員会統合のあり方について ……〈承認〉  
3. 令和5年度山形県看護協会重点事業(案)について……〈承認〉 8. 公益社団法人山形県看護協会 謝金規程(案)について……〈承認〉  
4. 令和5年度諮問審議事項(案)について……〈承認〉 9. 令和5年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について ……〈承認〉  
5. 令和5年度山形県看護協会教育計画(案)について……〈承認〉 10. 令和5年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について ……〈承認〉

### 令和4年7月~10月の山形県看護協会事業実施状況

令和4年10月11日(火) 訪問看護ステーション連絡協議会 訪問看護総合支援センター合同会議  
令和4年10月24日(月) 県内助産所管理者の交流会  
令和4年10月28日(金) 新型コロナ患者受入れ病院交流会  
令和4年11月 2日(水) 第1回監査  
令和4年11月 6日(日) 看護への道セミナー  
令和4年11月17日(木) 山形県看護研究会  
令和4年11月18日(金) 「福島県外避難者の心のケア事業」における「まちの保健室」  
令和4年11月24日(木) 置賜地域看護管理者会  
令和4年11月29日(火) 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会議  
令和4年12月 6日(火) 庄内地域看護管理者ネットワーク会議  
令和4年12月 15日(木) 地域に必要な看護職確保推進事業進捗報告会  
令和4年12月20日(火) 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会議  
令和4年12月26日(月) オンライン看護師等職場説明会  
令和5年 1月26日(木) 支部及び委員会の運営に関する会議  
令和5年 1月31日(火) 西北村山地域等看護力ネットワーク会議

## インフォメーション

### ◆ 令和4年度会館建設積立金納入状況(令和4年12月31日現在)

納入人数	金額	満額納入者
3,286名	16,264,000円	668名

皆様の多大なご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

### ◆ 2023(令和5)年度看護協会入会受付中!

2023(令和5)年度新規・再入会ご希望の方は、「入会申込書/会員情報変更届」(マゼンタ色)用紙をお送りいたしますので下記へご連絡ください。また、Web入会もご利用いただけます。  
継続会員の方は、会費納入はお済みですか? 会員情報に変更がある方は、会員専用Webページ「キャリアース」が便利です。  
退会ご希望の方は、退会届を3月31日(金)必着で下記へ郵送ください。新年度4月以降は、会費の返金ができませんのでご了承ください。

【送付先】 公益社団法人山形県看護協会 総務課  
〒990-2473 山形市松栄1-5-45 TEL023-685-8033

会員専用ページ  
キャリアース



編集  
後記

新年明けましておめでとうございます。  
広報委員は、今年もみなさんに元気と笑顔を届けられるような広報誌を目指して取り組んでまいります。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。